



TOWAKAI UNIVERSAL MEDICAL SERVICEの情報をフルにお届け！



タムス浦安病院

- ▶ 回復期
リハビリテーション病棟
- ▶ 地域包括ケア病棟
- ▶ 緩和ケア病棟

診療科目

内科
リハビリテーション科
緩和ケア内科



患者様の社会復帰に貢献するため
「運転再開プログラム」を
実施しています！
院長 森芳久

自動車の運転には、認知、予測、判断など
高度な脳の働き(高次脳機能)が必要とされ
ます。脳梗塞や脳出血の患者様の中には、
手足の運動麻痺がなくても、この高次脳
機能障害のために安全な運転ができなく
なる方がいらっしゃいます。当院では
入院中に、知的機能、視空間認知機能、
注意機能、遂行機能など多方面の神経
心理学的な諸検査を行って、本人・家族が
気づかないような障害が潜んでいないか
について、徹底的に調べています。低下
した機能を改善するため、患者様ごとに

難易度を調整した課題を課し、回復を促し
ます。他にも、ドライビングシミュレーター
を使って、様々な状況での危険予知、判断
が可能かを評価して訓練します。免許
センターへ診断書の提出を希望される方
には、教習車を使った路上評価も行います。
病院内の検査をパスしても、実際の道路を
数十分運転していると注意力が低下してきて
事故につながりかねない運転をしてしま
うケースもあります。
本院で実施している検
査から教習車を使った
路上評価までのプロ
グラムが、事故防止には
大事なプロセスだと
考えています。



「当院の摂食嚥下障害に対する
多職種での取り組み」
医師 山岸宏恵



第8回
特別講演



当院の摂食嚥下障害に対する多職種での
取り組みについて、言語聴覚士の守屋数馬、
摂食嚥下障害看護認定看護師の長嶋亜希子
師長とお話させていただきました。
摂食嚥下障害の原因は多岐にわたります
が、現在リハビリのニーズは非常に高く、
当院でも遠方からのリハビリ依頼をいた
だくことがあります。嚥下内視鏡検査、
嚥下造影検査を積極的に行い、治療では
言語聴覚士の訓練に加えバイタルスティム
プラスやジェントルスティムなどの機器を
用いたりリハビリも実施しております。
また、病棟看護師や栄養士、理学療法士を
交えて週一回のカンファレンスを行い、
昼食時には各病棟で多職種での評価も適宜
行っています。少しでも患者様の状態を
改善できるよう今後も多職種で協力し取り
組んでまいります。状態によっては胃瘻
の造設などを行うこともあり、退院後の
訪問看護、訪問リハビリの継続が必要となる
患者様もおられますので、地域での連携が
必須だと考えています。

公費による装具作成には、千葉県
の承認が必要となりますが、その
評価・認定がタムス浦安病院で
受けられるようになりました。
今までは千葉県リハビリテーション
センターまで行かなければ手続き
ができませんでしたが、浦安市から
のご支援もあり本院でその認定等
が受けられることとなりました。
このサービスの利用は、各自治体
での手続きが必要となります。
手続きの
詳細は、
各自治体に
お問い合わせ
してください。



患者送迎
サービスを開始しました！
2021年9月
より転院時などの
移動手段として、
送迎用車両の運転を開始しました。
車いすリフトも装備した車両となつて
おり、少しでも皆さまへのサービス
向上に繋がればと考えております。
(利用調整は当院の地域連携室で
対応しています。)



千葉県浦安市高洲 7-2-32
047-312-6765

制作：2022年1月

